

事業目的

地球観測の分野では、現在主流となっている観測衛星(地表解像度30cm～1m級)による地球観測データは解像度と観測頻度が不足しており、そして航空機を用いた測量は取得コストが非常に高い。弊社は両者の長点を併せ持つ「HAPSによるデータ」を提供する。
そのためには、本事業では従来の航空データと同等の解像度・位置精度を有するデータを取得する。また、データ処理により商用データ並みの品質を確保したのちに地図作成用途を含む様々なアプリケーションで検証を行う。

事業内容

本研究開発では、20 kmの高度より10 cm以下の解像度、1 m程度の位置精度を有する地球観測データを取得し、各用途における解析への活用可能性を検証する。その中で以下の項目を実施する。

- ・ 成層圏(20 km)より観測可能な装置の開発
- ・ 高高度気球を用いた成層圏観測実験
- ・ 取得されたデータの処理
- ・ 各アプリケーションにおける解析および検証

事業成果

事業者情報

作成/更新:2026年9月

SkySense株式会社
(東工大発スタートアップ)

所在地:東京都港区
設立年:2024年
HP: <https://sky-sense.jp>

SkySense
Earth observation HAPS

概要図等

